

自治センターだより

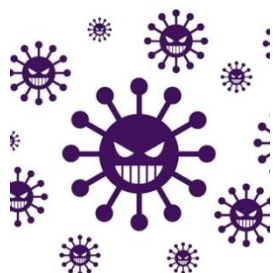
やまはし

令和4年 3月号

- ・編集と発行 山橋自治センター
- ・発行責任者 芳賀 真一
- ・発行所職員 長谷川信光；湯澤千春
- ・発行日 令和4年3月1日
- ・電話 0247-26-1065
- ・FAX 0247-26-3109



コロナウチン 3回目接種



1月30日から福島県全域が「まん延防止重点措置」が適用されていますが、コロナウィルスの感染が止まりません。県内を始め国内においても、連日のように感染者が拡大しています。町内においても感染者が散見しています。65歳以上者を対象に3回目の接種が行われています。最近の感染状況は、高齢者よりは、むしろ若年者層に多く見られます。三密回避（密接・密集・密閉）は勿論、手指消毒、マスクの着用を励行してください。なお、県内に1月30日から適用されている「まん延防止重点措置」は2月20日まででしたが、感染拡大が止まらないため、3月6日（日）まで延長になりました。

青少年健全育成標語の看板設置

山橋地区青少年健全育成推進協議会（添田善知会長）では、小中学生を対象とした健全育成標語を募集し、優秀な作品7点を看板にし、この程地区内各所（山形・板橋・南山形に各2カ所、北山形に1カ所）に設置しました。地域の意識啓発に役立てたいものです。

○ ○ ◎ ◎ ☆ ☆ ◇ ◇ ○

安全安心部会研修会開催

山橋地区自治協議会安全安心部会（小木義家部会長）では、2月18日（金）18:30から自治センターにおいて、会員研修会を実施しました。講師には、山橋駐在所、菅野修司巡查部長を迎え、「地域の実情及び地域防犯について」の講義とDVD利用による詐欺の手口や予防対処法について学びました。地区内から1件も事件や事故が無くなるよう、お互いに注意したいものです。



菅野巡查部長と小木部会長

各種団体“総会時期”到来!!

3月は、別れの時期であると同時に、各種団体の総会開催の時期でもあります。あわせて現役員においては、後継役員の選出に、頭を悩める時期でもあります。なぜか役員は、常に回避を得意とする者もいる一方、時期を見て受けなければならないタイミングもあると思います。難航無き役員改選を期待いたします。

〇〇〇株式会社
定時株主総会



記念碑調査から

「ふるさと塾」調査

表面 ④ 佐藤甲斐先生彰徳之碑（所在：板橋字八升蒔地内） 生徒一同



恩師佐藤有斐先生は、明治 27 年 10 月、南山形小学校に職を奉じてより先生の教えを受けて卒業するもの幾百幾多の人材を出し、先生と言えば佐藤先生を思い、教えの親と敬慕す。先生は、資性謹厳にして温厚、自ら範を垂れ、戊戌青年会の創設、或いは産業の振興に意を用い、信用組合を設けては、貯蓄の奨励をなし、百年の計を建て、かつ植林を奨め、幾多の村発展のために尽力され、その功績は数うべからず。職を退いて居を郡山に移すも常に先生を慕いて止まず。今先生は80余歳、なお壯者をしのぐものあり。然れども身は永劫ならず。ここに先生の教えを受くるもの相図りこの碑を建て、先生の高徳を永遠に留む。

子弟一同

たらちねの 親の心の教えの師 幾千代までも 語り伝えん

昭和 27 年 4 月 29 日

よ じ じゅ ぐ 四字熟語 (NO,8)

シリーズで解説を行ないます。

- ・意気揚々 (いきようよう) ……思い通りになって得意になり、誇らしげにふるまう様子
- ・以心伝心 (いしんでんしん) ……言葉や文字を使わないでも、気持ちや考えが通じ合うこと
- ・一意専心 (いちいせんしん) ……ほかのことを考えずに、一つのことにひたすら気持ちを集中させること
- ・一言居士 (いちげんこじ) ……何事にも自分の意見を言わないと気の済まない人
- ・一期一会 (いちごいちえ) ……一回限りの出会いのこと（一つの出会いを大切にすること）

文 学

松尾芭蕉 「奥の細道」 序文

月日 (つきひ) は百代 (はくたい) の过客 (かかく) にして、行 (ゆ) きかふ年もまた旅人 (たびびと) なり。船の上に生涯を浮かべ、馬の口とらえて老いを迎える者は、日々旅にして旅を栖 (すみか) とす。

{注釈} 月日は永遠の旅人であって、去ってはまたやって来る年もまた、旅人である。船頭として船の上で生涯を過ごす人や、馬子として馬のくつわを引いて老いるのを待ち受ける人は、毎日が旅であって、旅を住処としているのだ。昔の人も多くが旅をしながら亡くなっている。船頭のように舟の上に生涯を浮かべ、馬子のように馬の轡 (くつわ) を引いて老いていく者は、日々旅の中にいるのであり、旅を住まいとするのだ。



文 芸

☆ 小湊ミドリさん (山形) の作品

・年老いて 長寿も楽し 会える日も

・ふきのとう 春はまだかと 首すくめ

☆ 太楽キヨ子さん (板橋) の作品

・春を待つ ひ孫の背中に ランドセル

・病んでみて 人のやさしさ 身に染みて

☆ 詠人不知

・春雪と いえどまだまだ 風寒し

・立春が 過ぎて陽射しも 強まれり

編 集 雑 感

◇北京五輪も 17 日間の全日程を終了し、日本選手の活躍ぶりには、多くの感動と勇気を頂きました。メダルを獲得できた選手、惜しくもメダルを逃した選手、双方に拍手を贈りたいと思います。 ◆ 寒さもやっと、峠を越えそうです。でも今年は、降雪も回数はありましたが、大雪もなく一寸だけ安心でした。 (S H)